

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 広域地方県における新生児外科医療の持続可能性 ―患者搬送と外科医派遣を組み合わせた施設間連携―

### 研究の目的

少子化に伴う新生児外科症例の減少は、診療経験の維持と次世代の医師育成に影響を与えます。当県の出生数は2016年の8,626人から2025年には4,737人へ45.1%減少しました。青森県のように県面積が広く、医療施設が散在しており人的医療資源に限られる「広域地方県」では医療施設同士の連携は非常に重要です。県内新生児医療の中核を担う周産期施設である青森県立中央病院(以下、県病)のNICUには常勤小児外科医が不在です。県病と当院は異なる二次保健医療圏に位置し、陸路での移動に1時間以上を要します。当科は県病と頻回に症例検討を行い、患児の状態や周産期管理上の利点を踏まえ、当院への搬送または小児外科医派遣による県病での手術を選択してきました。当県における新生児外科診療の変化と施設間連携の実態を明らかにし、持続可能な診療体制を検討することにより新生児外科診療において治療成績の向上を図れる可能性があります。

**研究実施期間：** 実施許可日 ～ 2027年12月31日

**対象となる方：** 2016年1月1日～2025年12月31日までに当科で新生児手術を施行した患者、および当科医師が青森県立中央病院へ赴いての派遣手術で新生児手術を施行した患者さま

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、手術情報と現在の状況について標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、診断名、手術時日齢、手術時間、術式、合併症発生率、周術期成績を検討します。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えできませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人(親権者又は未成年後見人等)の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

**本件連絡先**

弘前大学医学部附属病院小児外科 小林完

Tel:0172-39-5079 Email:tm2.koba@hirosaki-u.ac.jp